

～ 楽しいスノースポーツは**安全**があってこそ ～

公益財団法人神奈川県スキー連盟

会 長 片 忠 夫

専務理事 木村 徳善

理 事 会 一 同

安 全 対 策 委 員 会

公益財団法人神奈川県スキー連盟へ集う皆さま！
神奈川県民の皆さま！

2017年、年明けから痛ましいスノースポーツ事故が発生してしまいました。
SAKで長年安全対策委員長を務めておられた元委員長／福沢洋治氏／ハンターマウンテンでボーダーと激突その衝撃も相まっつての重大事故。

心からお悔やみ申し上げ、哀悼の意を表します。

スノースポーツ指導者の皆様！楽しんでおられる神奈川県民の皆様！今一度スノースポーツの特性を見つめ直して頂き「講習中の生徒の安全」「一緒に楽しんでいる仲間の安全」「ご自身の安全」等々「安全確保」を切にお願い申し上げます。

下記は全国スキー安全協議会発行のスノースポーツ安全対策の一部（安全基準）です。

スノースポーツ安全基準

全国スキー安全対策協議会

スノースポーツには内在する以下の危険がある。

- ① 降雪・吹雪・降雨・濃霧など天候にともなう危険
ホワイトアウト（天候の具合で雪面の高低や凹凸が分かりにくい状況）を含む
- ② 崖・急斜面・溝・沢など地形に伴う危険
- ③ アイスバーン・深雪・クレバス・雪崩など雪質や雪面の状態による危険
ツリーウェル（樹木の傍に空いた深い穴）、ツリーホール（春先など雪解けにともない樹木のまわりに露出した地面）なども含む
- ④ 立木・切り株・茂み・岩石・露出した地表・水路など自然の障害物による危険
- ⑤ リフト支柱・人工降雪設備・標識・ロープ・マットなど人工の工作物との衝突による危険
- ⑥ 雪上車両との衝突の危険
- ⑦ スノーパークの利用にともなう危険
- ⑧ スキーヤーのスピードの出し過ぎによる危険
- ⑨ 自己転倒による危険
- ⑩ 他のスキーヤーとの衝突による危険
- ⑪ 疲労・飲酒・薬物・体調不良による危険
- ⑫ 不適切な用具の使用などによる危険
- ⑬ その他、これらに類する危険

以上